

令和6年6月会議

一般質問 参考資料

東芝 弘明 議員

能登半島地震 輪島市と志賀町の被害状況（抜粋）

輪島市

人口	世帯数
21,867	10,775

震度7
輪島市門前町走出

令和6年能登半島地震による被害等の状況【6/4・15時更新】

＊ 被害の状況（人的・建物被害）

人的被害（人）

- ・ 死 者 112（うち災害関連死者9）
- ・ 行方不明者 3
- ・ 重 傷 者 213
- ・ 軽 傷 者 303

災害関連死者：震災による死者以外で、震災後に災害による負傷の悪化または身体的負担による疾病のため死亡した者

住家被害（棟）

- ・ 全 壊 4,018
- ・ 半 壊 4,763
- ・ 一部損壊 6,035

非住家被害（棟）

8,040

＊ 避難所の状況

- ・ 避難所 26箇所
- ・ 避難者 521人

（輪島市ホームページより）

志賀町

人口	世帯数
17,941	7,799

震度7
志賀町香能

プレス発表資料 6月4日 17：00現在

ー被害状況ー

- ・ 人的被害 軽傷者 97人（程度不明含む） 重傷者7人 死亡2人 合計 106人
- ・ 火災 発生なし
- ・ 水道 3月2日（土）に全ての上水道区で通水が完了

ー避難状況ー

・ 避難所数及び避難人数（6月4日10時現在）

指定避難所 4箇所開設 避難者 110人（別紙参照）

自主避難所 1箇所 避難者 20人

福祉避難所 5月9日閉鎖

感染症対策避難所 閉鎖

合計5箇所 130人

- ・ 1.5次避難（石川県総合スポーツセンター、石川県産業展示館2号館、小松総合体育館）
6月3日現在 避難済 1人

・ 2次避難

6月2日現在 避難済 22人

- ・ 避難指示 楚和・灯、阿川、入釜、鶴野屋、地保、切留区に対し、警戒レベル4避難指示を発令中（最寄り避難所：稗造防災センター）

（志賀町ホームページより）

和歌山県地震被害想定調査結果（中央構造線による地震）

地震規模 8.0 相当

震源断層の位置 淡路島南沖～和歌山・奈良県境界付近

震源断層の深さ 4～14 km

要因別死者数 予測結果		人口 (人)	建物倒壊による死者数(人)			崖崩れによる死者数(人)			火災による死者数(人)			死者の総数(人)		
			冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時
	かつらぎ町	20,945	143	113	91	2	2	2	0	1	0	145	116	93
	和歌山県	687,915	4,338	3,174	2,449	43	37	38	176	311	146	4,556	3,520	2,632

負傷者・様救助者数予測結果		人口 (人)	負傷者数(人)			重傷者数(人)			中等傷者数(人)			要救助者数(人)		
			冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時
	かつらぎ町	20,945	303	268	258	122	92	74	181	176	184	522	403	363
	和歌山県	1,069,912	12,506	11,728	10,690	3,832	3,164	2,442	8,674	8,564	8,248	16,313	12,860	11,869

地震動・液状化による道路施設被害予測結果		橋梁（路線橋含む）		トンネル		盛土		橋梁（路線橋含む）		被害箇所数 合計
		現況数 (箇所)	被害箇所	現況数 (箇所)	被害箇所	現況数 (箇所)	被害箇所	現況数 (箇所)	被害箇所	
	かつらぎ町	99	28	1	0	8	11	29	13	52
	和歌山県	2,583	487	138	5	321	326	434	137	955

地震動・液状化による鉄道施設被害予測結果		橋梁（路線橋含む）		トンネル		盛土		橋梁（路線橋含む）		被害箇所数 合計
		現況数 (箇所)	被害箇所	現況数 (箇所)	被害箇所	現況数 (箇所)	被害箇所	現況数 (箇所)	被害箇所	
	かつらぎ町	28	10	0	0	5	7	2	1	19
	和歌山県	933	206	144	5	216	129	65	27	367

上下水道施設供給支障予測結果		配水管総延長 (km)	被害箇所数 箇所	被害率 (箇所/ km)	給水人口 (人)	地震直後		地震1日後		地震1週間後	
						断水人口	断水率	断水人口	断水率	断水人口	断水率
	かつらぎ町	178	276	1.55	16,888	17,871	96.6	15,646	84.6	8,935	48.3
	和歌山県	6,583	4,143	0.63	1,021,977	704,828	69.0	552,218	54.0	352,414	34.5

下水道施設処理支障予測結果		下水道管 総延長(km)	被害箇所数 箇所	被害率 (箇所/ km)	処理区域人口 (人)	処理支障人口 (人)	支障率	応急措置対 処日数	本復旧工事 開始月
	かつらぎ町	61	147	3.22	6,144	412	7.6	1	1
	和歌山県	1,151	4,203	3.65	179,900	9,250	5.1		

停電人口予測結果		人口 (人)	地震直後			地震1日後			地震1週間後		
			冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時
	かつらぎ町	20,945	20,649	20,649	20,649	20,379	20,379	20,379	16,376	17,033	16,472
			98.6%	98.6%	98.6%	97.3%	97.3%	97.3%	78.2%	81.3%	78.6%
	和歌山県	1,069,912	883,139	886,302	883,925	695,532	704,327	696,350	531,504	607,760	563,085
			82.5%	82.8%	82.6%	65.0%	65.8%	65.1%	49.7%	56.8%	52.6%

一般電話機能支障予測結果		人口 (人)	地震直後		
			冬5時	冬18時	夏12時
	かつらぎ町	20,945	1,852	3,298	2,377
			8.8%	15.7%	11.3%
	和歌山県	1,069,912	518,554	546,683	523,032
			48.5%	51.1%	48.9%

一時的住居制約者数予測結果		人口 (人)	避難所生活者＋避難所以外避難者(人)						避難所生活者数(人)					
			地震1日後			地震1週間後			地震1ヶ月後			ピーク時		
			冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時	冬5時	冬18時	夏12時
	かつらぎ町	20,945	9,177	9,272	9,191	11,118	11,197	11,129	5,633	5,757	5,651	7,227	7,278	7,234
			43.8%	44.3%	43.9%	53.1%	53.5%	53.1%	26.9%	27.5%	27.0%	34.5%	34.7%	34.5%
	和歌山県	1,069,912	374,891	417,407	382,518	461,795	496,387	468,016	262,158	316,856	271,903	300,167	322,652	304,210
			35.0%	39.0%	35.9%	43.2%	46.4%	43.7%	24.5%	29.6%	25.4%	28.1%	30.2%	28.4%

帰宅困難者数予測結果		人口 (人)	冬5時			冬18時			夏12時		
			外出者数	帰宅困難者数	帰宅困難率	外出者数	帰宅困難者数	帰宅困難率	外出者数	帰宅困難者数	帰宅困難率
	かつらぎ町	20,945	0	0	0	2,889	814	28.2%	2,889	814	28.2%
			0.0%	0.0%	0.0%	13.8%	3.9%		13.8%	3.9%	
	和歌山県	1,069,912	0	0	0	131,326	45,027	34.3%	183,509	97,210	53.0%
			0.0%	0.0%	0.0%	12.3%	4.2%		17.2%	9.1%	

(かつらぎ町地域防災計画 第1編 総則P28-29)

町が想定している地震で
最も被害が大きいのが中央構造線による地震

和歌山県地震被害想定調査結果（3連動地震）

※建物被害、人的被害、下水道被害、電力施設被害、通信施設被害、災害廃棄物については冬18時・風速8mのケース。

※避難者数予測、必要物資数については夏12時・風速4mのケース。

建物被害	総棟数	最大震度	揺れ等による 全壊棟数	揺れ等による 全壊率	焼失棟数	焼失率	全壊棟数 合計	半壊棟数 合計	全壊率	半壊率
かつらぎ町	10,300	6弱	13	0%	1	0%	14	180	0%	2%
和歌山県	497,800	7	33,000	7%	7,500	2%	58,700	88,300	12%	18%

※県の全(半)壊棟数合計・全(半)壊率には、津波による被害を含む。

人的被害	人口	人的被害の合計				建物倒壊（振動）による被害			建物倒壊（斜面崩壊）による被害			火災による被害		
		死者数	重傷者数	軽傷者数	閉込者数	死者数	重傷者数	軽傷者数	死者数	重傷者数	軽傷者数	死者数	重傷者数	軽傷者数
かつらぎ町	18,100	0	0	24	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0
和歌山県	996,500	19,200	4,700	14,300	400	1,300	1,800	8,700	30	18	17	280	72	180

※県の人的被害合計には、津波による被害を含む。

下水道被害	管延長 km	管被害 箇所数	被害率 箇所/km	水道人口	断水人口				断水率			
					発災直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
かつらぎ町	195.9	67	0.34	17,000	13,500	8,200	4,100	0	79%	48%	24%	0%
和歌山県	7,286.2	13,800	1.89	976,900	878,200	701,800	350,900	123,500	90%	72%	36%	13%

下水道被害	下水道 人口	支障人口				支障率			
		発災直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
かつらぎ町	6,100	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
和歌山県	280,800	136,100	134,500	114,700	17,600	49%	48%	41%	6%

電力施設被害	需要家 軒数	被災軒数	停電軒数				停電率			
			発災直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
かつらぎ町	10,300	14	123,300	0	0	0	28%	0%	0%	0%
和歌山県	497,800	58,700	55,800	22,100	21,100		13%	5%	5%	

通信施設被害	回線数	固定電話・不通回線数				固定電話・不通率				携帯電話・不通ランク			
		発災直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	発災直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
かつらぎ町	4,900	230	110	0	0	5%	2%	0%	0%	—	—	—	—
和歌山県	243,500	84,200	49,100	33,400	23,200	41%	20%	17%	12%				

道路施設被害	対象道路 延長 (km)	道路施設 被害 箇所数	地震の影響を受けると予測される道路の区間延長 揺れ（震度）の大きな区間				液状化危険度大の区間			
			震度7	震度6強	震度6弱	PL値 15～30	PL値 30～			
かつらぎ町	132	7	0	0	13	0	0			
和歌山県	3,021	220	58	628	1,314	252	304			

鉄道施設被害	対象路線 延長 (km)	鉄道施設 被害 箇所数	地震の影響を受けると予測される 鉄道の区間延長 揺れ（震度）の大きな区間		
			震度7	震度6強	震度6弱
かつらぎ町	10	14	0	0	3
和歌山県	330	498	14	99	132

空港施設被害	ポート数	揺れ（震度）の大きな区間		
		震度7	震度6強	震度6弱
かつらぎ町	3	0	0	2
和歌山県	296	13	64	129

避難者数 予測結果	発災時 人口	避難者総数			避難所に避難する者			避難所外生活者		
		1日後	1週間後	1ヶ月後	1日後	1週間後	1ヶ月後	1日後	1週間後	1ヶ月後
かつらぎ町	17,800	24	2,300	1,200	15	1,200	340	10	1,200	790
和歌山県	983,000	276,800	237,400	256,700	182,700	167,400	77,000	94,100	70,000	179,700

帰宅困難者 予測結果	帰宅者総数 a	域内帰宅者 b	域外帰宅者				徒歩代替者 g	帰宅困難者 h
			総数 c	鉄道・バ ス利用者 d	自動車・ 二輪車 利用者e	自転車 利用者・ 徒歩f		
かつらぎ町	15,100	9,900	5,300	660	4,200	450	910	3,900
和歌山県	782,300	477,300	305,100	34,400	232,600	38,300	72,400	194,500

必要物資数 予測結果		1日後～3日後（3日間）			4日後～7日後（3日間）			毛布 （枚）
		避難所 避難者数	食料 （食/3日間）	飲料水 （リットル /3日間）	避難所 避難者数	食料 （食/4日間）	飲料水 （リットル /4日間）	
かつらぎ町	15	160	73,600	1,200	16,000	85,800	2,300	
和歌山県	182,700	1,972,800	6,315,400	167,400	2,409,900	7,368,000	414,700	

災害廃棄物		重量（t）			体積（m³）		
		可燃物	不燃物	合計	可燃物	不燃物	合計
かつらぎ町	310	880	1,200	550	600	1,200	
和歌山県	1,083,000	3,887,000	4,969,000	1,948,000	2,643,000	4,591,000	

死者	重傷者	軽傷者	全壊棟数	半壊棟数
0	0	24	14	180
避難者総数 （1週間後）				
2300				

和歌山県地震被害想定調査結果（南海トラフ巨大地震）

※建物被害、人的被害、下水道被害、電力施設被害、通信施設被害、災害廃棄物については冬 18 時・風速 8m のケース。

※避難者数予測、必要物資数については夏 12 時・風速 4m のケース。

建物被害		総棟数	最大震度	揺れ等による 全壊棟数	揺れ等による 全壊率	焼失棟数	焼失率	全壊棟数 合計	半壊棟数 合計	全壊率	半壊率
	かつらぎ町	10,300	6 強	260	3%	3	0%	260	1,300	3%	13%
	和歌山県	497,800	7	84,700	18%	17,900	4%	158,700	100,800	32%	21%

※県の全(半)壊棟数合計・全(半)壊率には、津波による被害を含む。

人的被害		人口	人的被害の合計				建物倒壊（振動）による被害			建物倒壊（斜面崩壊）による被害			火災による被害		
			死者数	重傷者数	軽傷者数	閉込者数	死者数	重傷者数	軽傷者数	死者数	重傷者数	軽傷者数	死者数	重傷者数	軽傷者数
	かつらぎ町	18,100	13	18	210	8	12	17	210	1	1	1	0	0	0
	和歌山県	996,500	90,400	9,800	29,800	1,100	3,700	5,000	20,500	42	23	23	940	250	620

※県の人的被害合計には、津波による被害を含む。

上水道被害		管延長 km	管被害 箇所数	被害率 箇所/km	水道人口	断水人口				断水率			
						発災直後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後	発災直後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後
	かつらぎ町	195.9	310	1.55	17,000	16,600	14,400	7,200	0	98%	85%	42%	0%
	和歌山県	7,286.2	30,500	4.93	976,900	965,400	892,700	446,400	271,700	99%	91%	46%	28%

下水道被害		下水道 人口	支障人口				支障率			
			発災直後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後	発災直後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後
	かつらぎ町	6,100	74	42	0	0	1%	1%	0%	0%
	和歌山県	280,800	179,500	177,000	153,700	30,100	64%	63%	55%	11%

電力施設被害		需要家 軒数	被災軒数	停電軒数				停電率			
				発災直後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後	発災直後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後
	かつらぎ町	10,300	260	10,100	0	0	0	100%	100%	0%	0%
	和歌山県	497,800	158,700	339,100	329,000	95,600	84,200	100%	97%	28%	25%

通信施設被害		回線数	固定電話・不通回線数				固定電話・不通率				携帯電話・不通ランク			
			発災直後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後	発災直後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後	発災直後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後
	かつらぎ町	4,900	4,900	4,900	11	0	100%	100%	0%	0%	A	A	—	—
	和歌山県	243,500	243,500	238,000	110,100	94,200	100%	99%	52%	47%				

道路施設被害	対象道路 延長 (km)	道路施設 被害	地震の影響を受けると予測される道路の区間延長				
		地震被害 箇所数	揺れ（震度）の大きな区間			状況・危険度大の区間	
			震度 7	震度 6 強	震度 6 弱	PL 値 15～30	PL 値 30～
かつらぎ町	132	10	0	7	123	21	1
和歌山県	3,021	230	187	1,696	1,127	357	438

鉄道施設被害	対象路線 延長 (km)	鉄道施設 被害	地震の影響を受けると予測される 鉄道の区間延長			
		地震被害 箇所数	揺れ（震度）の大きな区間			
			震度 7	震度 6 強	震度 6 弱	
	かつらぎ町	10	21	0	1	9
	和歌山県	330	525	37	225	64

空港施設被害		ポート数	揺れ（震度）の大きな区間		
			震度 7	震度 6 強	震度 6 弱
	かつらぎ町	3	0	1	2
	和歌山県	296	29	190	76

避難者数 予測結果		発災時 人口	避難者総数			避難所に避難する者			避難所外生活者		
			1 日後	1 週間後	1 ヶ月後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後	1 日後	1 週間後	1 ヶ月後
	かつらぎ町	17,800	410	2,300	410	250	1,200	130	170	1,200	290
	和歌山県	983,000	438,500	293,500	389,300	288,800	217,700	116,800	149,700	75,900	272,500

帰宅困難者 予測結果 （再掲）		帰宅者総数 a	域内帰宅者 b	域外帰宅者				徒歩代替者 g	帰宅困難者 h
				総数 c	鉄道・バ ス利用者 d	自動車・ 二輪車 利用者 e	自転車 利用者・ 徒歩 f		
	かつらぎ町	15,100	9,900	5,300	660	4,200	450	910	3,900
	和歌山県	782,300	477,300	305,100	34,400	232,600	38,300	72,400	194,500

必要物資数 予測結果		1 日後～3 日後（3 日間）			4 日後～7 日後（3 日間）			毛布 （枚）
		避難所 避難者数	食料 （食/3 日間）	飲料水 （リットル /3 日間）	避難所 避難者数	食料 （食/4 日間）	飲料水 （リットル /4 日間）	
	かつらぎ町	250	2,700	129,100	1,200	16,500	150,600	2,300
	和歌山県	288,800	3,119,100	8,033,700	217,700	3,134,300	9,372,600	605,600

災害廃棄物		重量（t）			体積（㎡）		
		可燃物	不燃物	合計	可燃物	不燃物	合計
	かつらぎ町	5,900	18,000	24,000	11,000	13,000	23,000
	和歌山県	3,108,000	12,203,000	15,310,000	5,594,000	8,298,000	13,891,000

死者	重傷者	軽傷者	全壊棟数	半壊棟数
13	18	210	260	1300
避難者総数 (1週間後)				
2300				

第4章 防災の基本方針

未曾有の人的被害、経済被害をもたらした東日本大震災の発生から11年が経過し今もお、復興の見通しが立たない地域は多く、多くの人々が生活再建に向けて懸命の努力が続けられています。

東日本大震災の教訓を踏まえ、いかなる大規模な地震が発生した場合にも、人命だけは何としても守るとともに、我が国の経済社会が致命傷を負わないようハード・ソフト両面からの総合的な対策の実施による防災・減災の徹底を図ることを目的として、平成25年11月に東南海・南海法が南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（以下「南海トラフ法」という。）に改正され、同年12月に施行されました。

これにより、法律の対象地震は東南海・南海地震から南海トラフ地震に改正され、科学的に想定し得る最大規模の地震である南海トラフ巨大地震を含め、南海トラフ沿いで発生する様々な地震を考慮して地震防災対策を推進することとなりました。

また、南海トラフ地震防災対策推進地域は1都2府26県707市町村が指定され、この中に本町も含まれています。

これら南海トラフ地震等の大規模地震のほか、風水害、土砂災害などの自然災害に適切に対処するため、防災施設の整備、情報伝達網の充実などを推進するとともに、被害を大幅に低減し死者数を限りなくゼロに近づけていくこと、被災地域の復旧・復興にかかる時間を大幅に短縮することを目指し、かつらぎ町・関係機関及び住民・地域・事業所等が一体となった総合的な防災体制の整備と相互の連携を強化します。

（かつらぎ町地域防災計画 第1編 総則P38）

（2）計画の前提条件

中央構造線断層帯による地震は、一旦発生すると、紀の川沿いの低地では震度7の揺れとなり、多大な被害を町域にもたらすが、その発生確率は、東海・東南海・南海地震による地震の発生確率と比べると低いことから、本計画の計画期間における計画の前提条件としては、東海・東南海・南海地震による地震被害を想定するものとします。

なお、中央構造線断層帯による地震（震度7の揺れ）対策については、備えを長期的に講じていくものとします。

（かつらぎ町地域防災計画 第1編 総則P30）

かつらぎ町の地域防災計画では
中央構造線上の地震については
長期的な課題であって
計画期間の外に置かれている

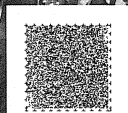
橋本市

保存版

やさしい
防災
ハンドブック



命を守る



橋本市やさしい
防災ハンドブック



つかいかた

／まずは／

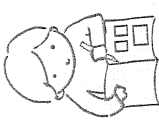
知る



橋本市で考えられる
災害について知りましょう。

／つぎは／

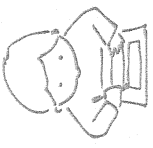
調べる



身近なところの危険
を調べましょう。

／そして／

考える



災害時をイメージし、
災害時に命を守るための
対応を考えておきましょう。

ひとりでは内容が難しいときは、家族や学校の先生に聞いたり、インターネットなどで調べながら考えてみましょう。

地震における避難所に必要なもの

住宅の半壊や全壊によって、住む場所を失った場合、長期にわたる避難生活が余儀なくされるので、地震の際の避難所は、避難所で日常生活が送れるようにする努力が必要になる。

1. 耐震補強がなされた建物（何人収容できるのか）
2. テント
3. 車中泊を想定した対応
4. 水、食料
5. 炊き出しのできる仕組み
6. 日常生活用品
7. 義援金
8. 眠ることのできる毛布、マットレス、ベッドなど
9. トイレ（収容人数がまかなえるもの）
10. 洗濯のできる仕組み
11. お風呂

明日、地震が起こることもあるので
現時点でどれだけ具体的な準備ができているのか
こういう視点で対策を講じる必要がある。

地震発生時、大混乱になるので避難所にも避難民が集中する。
一定の期間が経過すれば、二次避難を計画する必要がある。

2 2 避難所の整備状況

(1) 避難所

No.	避難施設	所在地	標示内容	N T T / 有線	昭和56年以前建築物	紀の川浸水想定区域内	土砂災害危険区域内	職員配置
1	中飯降児童館	中飯降 284-1	(建物)	22-8015				
2	中飯降グラウンド	中飯降 1344-3	(広場)	—				
3	和歌山県農業入学校	中飯降 422	(建物・広場)	22-2203				
4	紀北農業高校	中飯降 1781	(建物・広場)	22-1500				
5	西飯降集会所	西飯降 291	(建物)	22324 (有線)				
6	妙寺小学校	妙寺 857	(建物・広場)	22-0031				
7	ゆゆうコミュニケーションホーム	妙寺 146-2	(建物)	22-8191		○		
8	妙寺中学校	妙寺 581	(建物・広場)	22-0159				
9	妙寺公民館	妙寺 455-1	(建物・広場)	22-6668	○	○		
10	かつらぎ総合文化会館	丁ノ町 2454	(建物・広場)	22-0300		○		
11	かつらぎ町地域福祉センター	丁ノ町 2338-2	(建物・広場)	22-4311		○		
12	丁ノ町地域交流センター	丁ノ町 459-1	(建物)	22-6944				
13	田ノ町保育所	丁ノ町 280	(建物・広場)	—	○		○	
14	広野高齢者居働促進施設	広野 210-1	(建物)	27117 (有線)				
15	大谷小学校	大谷 338	(建物・広場)	22-0132				
16	大谷公民館	大谷 288-4	(建物)	22-1644				
17	大谷地域交流センター	大谷 868-1	(建物)	22-1008		○		
18	西柏木会館	柏木 305-1	(建物・広場)	33025 (有線)				
19	笠田公民館佐野分館 (佐野ふれあい館)	佐野 551	(建物・広場)	22-4566	○			
20	笠田ふるさと交流館	笠田東 386-2	(建物)	22-1004		○		
21	笠田小学校	笠田東 568	(建物・広場)	22-1020				
22	笠田高等学校	笠田東 825	(建物・広場)	22-1029				
23	笠田東第1自治区コミュニティセンター	笠田東 30-3	(建物)	40822 (有線)				
24	笠田東第1自治区西集会所	笠田東 666-2	(建物・広場)	43811 (有線)				
25	笠田中学校	笠田東 132	(建物・広場)	22-1068		○		
26	笠田東児童館	笠田東 353-1	(建物)	22-4764	○	○		
27	新規作物地域ブランド定着施設	笠田中 256-17	(建物)	46620 (有線)				
28	青ノ山ふれあい会館	青ノ山 390	(建物)	48111 (有線)				
29	萩原コミュニティセンター	萩原 353-2	(建物)	47517 (有線)				
30	窪ふるさと館	窪 140	(建物)	47622 (有線)				
31	移レストハウス	移 82-1	(建物)	48322 (有線)				
32	高田児童館	高田 67-2	(建物)	22-1864	○			
33	広口生活改善センター	広口 476	(建物)	50511 (有線)	○		○	
34	四郷地域交流センター (ともがき)	広口 1197	(建物・広場)	25-0002			○	
35	滝文化保存伝習施設	滝 372-2	(建物)	51725 (有線)				
36	東谷ふるさとセンター	東谷 1847	(建物)	25-0032			○	
37	平生活改善センター	平 93	(建物)	52420 (有線)	○			
38	四色公民館	御所 8	(建物)	22-5454			○	
39	西沢田児童館	西沢田 124-1	(建物)	22-7538	○	○		
40	渡田小学校	東渡田 152	(建物・広場)	22-2004				
41	見好公民館	東渡田 50	(建物)	22-6917	○			
42	東渡田軽スポーツセンター	東渡田 428-8	(建物)	58313 (有線)				
43	河南グラウンド	東渡田 628-3	(広場)	—		○		
44	河南地域交流センター	平沼田 667-1	(建物)	22-6272			○	
45	寺尾集会所	寺尾 207	(建物)	56722 (有線)	○		○	
46	兄井集会所	兄井 243	(建物)	56423 (有線)	○		○	
47	宮本集会所	宮本 13	(建物)	57723 (有線)			○	

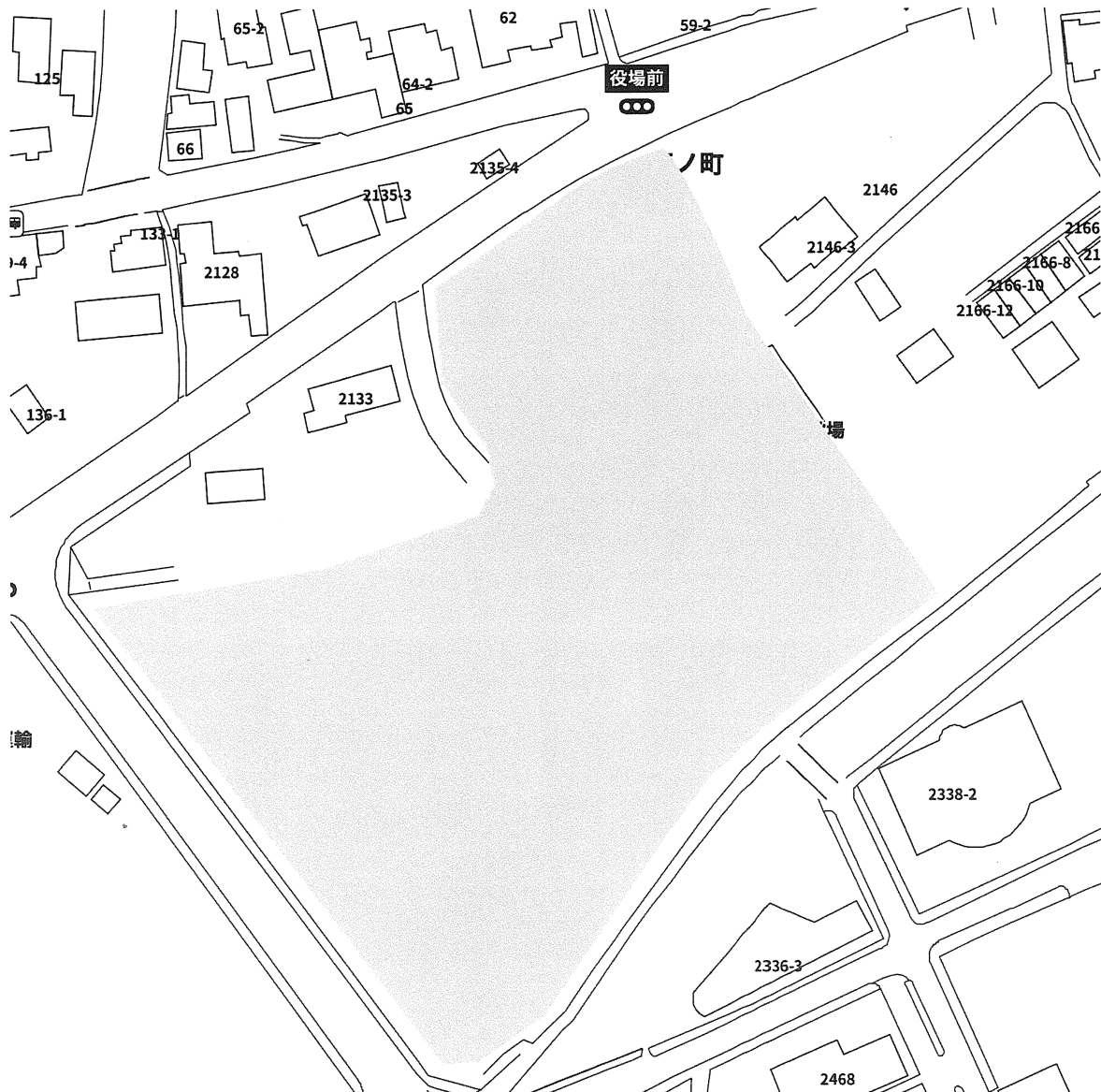
No.	避難施設	所在地	標示内容	N T T / 有線	昭和56年以前建築物	紀の川浸水想定区域内	土砂災害危険区域内	職員配置
48	三谷こども園	三谷 1650	(建物・広場)	23-3730		○		
49	丹生酒殿神社	三谷 631	(建物)	22-3146	○		○	
50	三谷公民館	三谷 1670-1	(建物)	22-2184	○	○		
51	山崎児童館	山崎 184	(建物)	22-6337	○		○	
52	天野地域交流センター (ゆずり葉)	下天野 930	(建物・広場)	26-0350				
53	旧志賀小学校	志賀 1214	(建物・広場)	—				
54	新城農作業準備休養施設	新城 879-1	(建物・広場)	64818 (有線)			○	
55	久木集会所	花園久木 284	(建物)	0736-56-4475	○		○	
56	花園保健福祉館	花園中南 250	(建物)	0737-26-0834	○		○	
57	新子ふるさと村	花園新子 96	(建物)	0737-26-0833	○		○	
58	花園中学校	花園北寺 189	(建物・広場)	0737-26-0301			○	
59	はなぞの温泉「花開の里」	花園梁瀬 779	(建物・広場)	0737-26-0326	○		○	
60	通照寺	花園梁瀬 1567	(建物)	0737-26-0516	○		○	
61	梁瀬小学校	花園梁瀬 669	(建物・広場)	0737-26-0304	○		○	
62	新城地域交流センター (「水とみどり の美術館」(すぎのこ))	新城 243						
63	花園生活改善センター	花園梁瀬 603						
64	かつらぎ町保健福祉センター	丁ノ町 2148-1						
65	国道 480 号沿地域振興交流施設「道の 駅 くしがきの里」	滝 53-1						

(2) 福祉避難所

No.	避難施設	所在地	標示内容	N T T / 有線	昭和56年以前建築物	紀の川浸水想定区域内	土砂災害危険区域内
1	かつらぎ町地域福祉センター	丁ノ町 2338-2	(建物・広場)	22-4311		○	

(かつらぎ町地域防災計画 資料編P71-72)

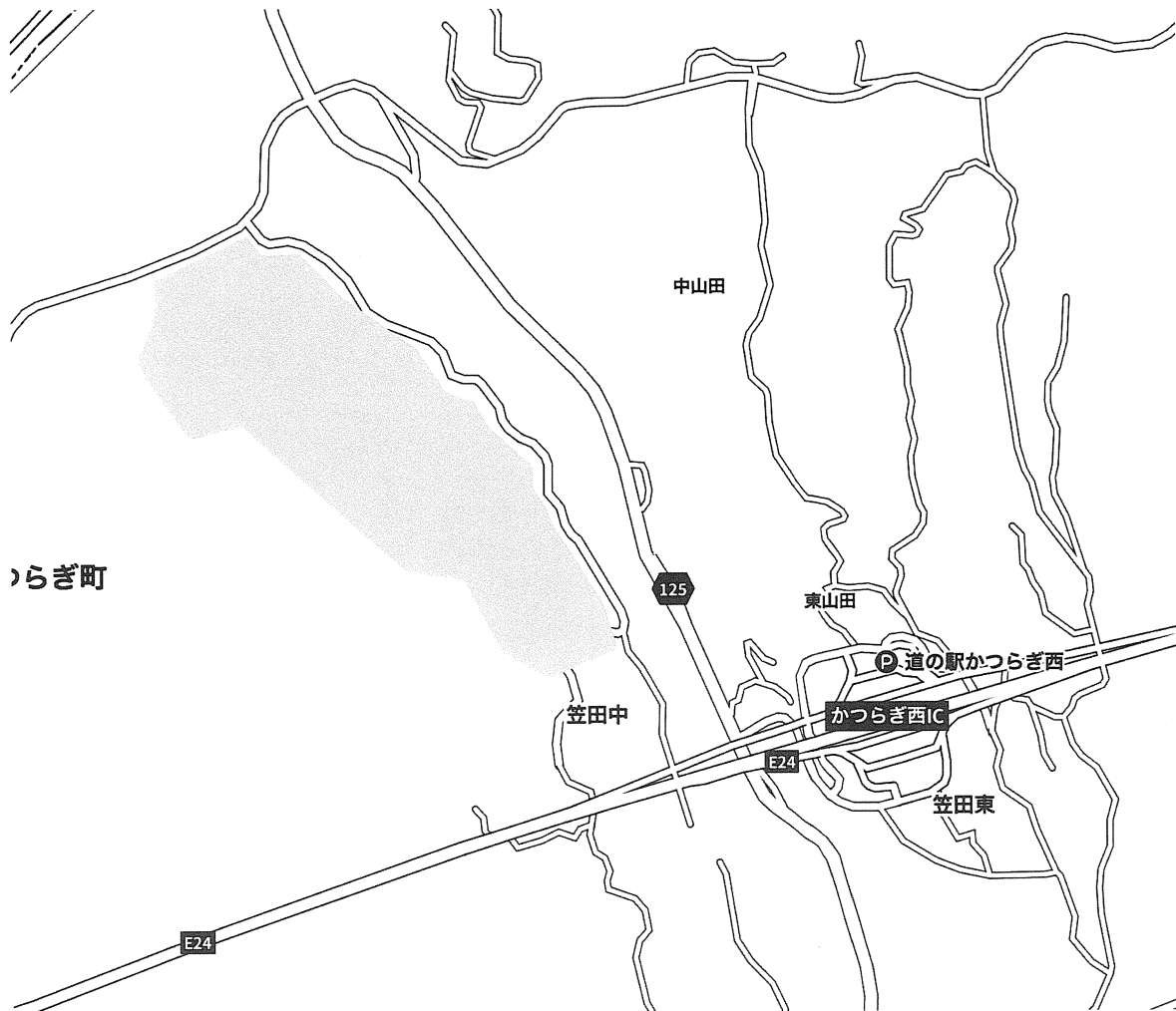
役場の敷地＋西側の土地をマーキングしたもの



(白地図の上に役場から西の都市計画道路までのエリアを 灰色でマーキングして東芝が作成)

賑わいの創出の規模によって用地の確保の方法が変わってくる。
賑わいの創出の規模が大きくなると建設費用も増加する。

笠田中の元ほ場用地 企業誘致の場所



(白地図の上に企業誘致の場所を作成し灰色でマーキングして東芝が作成)

今後の課題

国道480号の交差点改良
京奈和から企業誘致の場所への直接の進入路
開発にともなう河川の改修
開発にともなう下水処理

これらはすべて進出する企業が
費用を負担すべき

町財政から負担する余裕はないのではないか